

笑顔で介護が続けられるために

大田病院介護保険室 土居 恵 孝



料が払えないと償還払いなどの厳しいペナルティが課せられます。私たちに「葬式代も残らない」との悲鳴が寄せられたこともありません。

思いやる相手を間違えないで

来年はその介護報酬が見直されます。財務省は、①要支援から要介護2まで介護保険から排除する。②要支援から介護2まで生活援助(ヘルパー)を利用を介護保険からはずす。

一般労働者の6割にも満たない賃金

07年度介護職員の離職率は21.6%。全産業平均が16.2%ですからきわめて深刻です。

お金がないのが現状 肢がないのが現状

「やっぱりお金ですよ」私が職場のケアマネジャーたちに「介護される方、介護する方が最も大変なこと？」と問いかけた時の答えです。

目曜日の朝刊のチラシには介護職員募集が常に載っています。

「やりのいはあるけどきつくて給料が安い」と介護現場から去っていく若者も多いのです。

「思いやる」相手間違っているのです。ここに究極の選択に「ア」と言える根拠があると思えます。



労働者との交渉を行いました。これは介護報酬の引き上げと利用料の軽減を国の負担によって行うよ求めたものです。

アスベスト被災対策大田連絡会が「集い」開催

とりくみの成果が着実に前進



去る9月20日、「アスベスト問題のこれからを考える集い」が大森南地域の前の浦集会所で開かれました。

「集い」では、いままでにNHKで放映された連絡会の活動の映像が映し出され、とりくみの到達点が報告されました。

前進座からのお知らせ
前進座公演『くず〜い 屑屋でござい』
12月15日(月)
下丸子・大田区民プラザ 大ホール
開演時間(2回) 昼の部 14:00 夜の部 19:00
料金(全席指定席)
前売券 大人 3,500円 子ども 2,000円
主催:大田区『くず〜い 屑屋でござい』を観る会
問合せ:観る会事務局 090-4706-5583



かつて昭和30年代位までは「夜なべ仕事」こんな言葉で現される家内労働が一般的でした。

かつて昭和30年代位までは「夜なべ仕事」こんな言葉で現される家内労働が一般的でした。農打仕事の花景を、今も思い浮かべる人は少なくありません。